

新聞を通して表現力や思考力を高めてもらおうと、福井新聞社は26日、小中学生向けNIE(子ども塾)「しんぶん寺子屋」の本年度第1回講座を開いた。小学2年～中学1年の13人が参加。記事を基にクイズを考え、自身の思いや意見を伝え合う「わくワークシート」作りに挑戦した。

講師は本社の徳島泰彦NIEコーディネーター。参加した児童、生徒たちは会場に並んだ5～6月の福井新聞や「子どもタイムズ」から、「ふくいサーモン」「タイムカプセル」「旧北陸線のトンネルカード」といった気になる記事や写真を選んで切り抜き、問いを三つ考えた。

1、2問目は記事を読めば答えられる問題、3問目は

気になる記事 クイズに 本社「しんぶん寺子屋」に13人



NIE講座「しんぶん寺子屋」で記事からクイズを作るワークショップに取り組む子どもたち＝26日、福井新聞社

は答えが複数になるルール。子どもたちは、記事をじっくりと読み込んでオリジナルの設問をひねり出した。ワークシートには、記事を選んだ理由や考えも書き加えた。

続いて他のメンバーが作った問題を解き、答え合わせ。3問目についてはグループ内で自分なりの意見や考えを発表した。中藤小6年の田中莉央さんは「問題を作るのは難しかった。陸上の短距離が好き。新聞には興味のあるニュースが載っているから、これからも読んでいきたい」と話していた。

次回は7月26日の午後1時半から、夏休み3回シリーズの第1弾で、新聞の作り方や記事の書き方を学ぶ。8月7日は取材活動、同23日は紙面作りに取り組む。福井新聞社は4月から教員向けのNIE塾も開講している。次回は7月6日。会場は両講座とも福井新聞社で参加は無料。1回のみ参加も可能。

申し込みは、同社みんなの新聞部 ☎0776(57)5122。メール naie@fukushimbun.co.jp (山口晶永)